



# つばさ

令和2年 12月 1日  
さいたま市立つばさ小学校  
TEL 661-0283  
FAX 653-4714

12月号

在籍児童数 男子581人 女子569人 合計1,150人

## 健やかな心

校長 高田信太郎

冷たくなった北風に舞う黄色や朱色のたくさんの落ち葉、冬らしさを感じられる頃となりました。

さて、11月11日は、つばさ小学校の12周年の開校記念日でした。12年前に開校記念式典が開かれたことから、この日が開校記念日となりました。今年は、みんなを集めての集会ができないので、お昼の放送で、つばさ小学校の歴史についてお話ししました。すると、そのすぐ後の昼休みに、つばさ小学校の12周年を祝うメッセージを書いて持ってきてくれる子どもたちが何人もいました。つばさ小学校のことを祝いたい、自分たちで考え、自主的に行動する姿をとてうれしく思います。

今年は、子どもたちの心の様子もいつもとは、少し傾向が違います。国立成育医療研究センターの「第3回コロナ×こどもアンケート」の結果によりますと、「すぐにイライラしてしまう」が30%、「集中できない」が27%となっています。新型コロナウイルスは未知のウイルスで、わからないことも多いため不安が大きくなります。人は、緊張が高まると誰かを責めるようになるそうです。誰かを攻撃すると、差別につながります。

また、テレビ・スマホ・ゲームの時間がコロナ前よりも増えたと回答した割合は全体の43%だそうです。室内で過ごす時間が多いことから、仕方がないことかもしれませんが、特に気をつけなければならないのが、SNS等の様々なトラブルです。

以前に10月の読書月間に向けた学校朝会で、ある本を紹介しました。その話の内容は、動物の王国が舞台で、自分のライバルに対するありもしないうわさを流し、それが、メールや噂話などで広まり、ほとんどの人がそちらを信じてしまい、国が滅んでいくというお話です。うわさを意図的に流した人が一番悪いのですが、それを信じて広めてしまう人は、「自分はただ伝えただけだから」と悪意はありません。しかし、振り返ってみると、うわさを信じて広めていた人たちにも、責任があるのではないかと、考えさせられるお話です。

この話をした後、子どもたちからの感想では、「自分たちのまわりにも、デマやうわさはあるけど、私は信じません」「今、ネットによるトラブルに自分もしないようにし、巻き込まれないようにしたい」など、自分のこととしてしっかりと考えられている子どもたちがいて、安心しました。しかし、だれでも不安が大きくなると、正しい判断ができなくなってしまうこともあります。不安から誰かを傷つけてしまうことも、差別から守ることも私たち一人ひとりが自覚することが大切です。

つばさ小学校の子どもたちの日々の学校生活をみていると、優しい気持ちをもっている子が多いと感じることがたくさんあります。相手の立場にたって気持ちを考え、明るくみんなが元気を分け合えるつばさ小学校であり続けたいです。そのためには、子どもたちが関わる生活環境がとても大事になります。子どもたちの健やかな心を育むため、保護者・地域の皆様には、引き続き、御理解・御協力をお願いいたします。